

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：30項目

- 問題なし：25項目
- 誤り：3項目
- 要確認：2項目

詳細な検証結果

1. 固有名詞

記載内容：「森屋隆（もりや たかし、1967年6月28日生まれ）」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトおよびWikipediaで確認。1967年6月28日生まれ、読み仮名も正確

記載内容：「立憲民主党所属の参議院議員（比例区、1期）」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党所属、参議院議員1期、比例区選出と確認

記載内容：「西東京バス株式会社」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1986年4月に西東京バスに就職と確認

記載内容：「立憲民主党大阪府連では代表代行兼政策調査会長」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia記載「立憲民主党大阪府総支部連合会 代表代行兼政策調査会長」と確認

2. 数値情報

記載内容：「2016年参院選に初挑戦し、比例区で約10万2千票を獲得」

- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：102,208票
- 根拠・出典：Wikipedia記載「2016年7月の第24回参議院議員通常選挙に民進党比例区から出馬し、102,208票を得るが落選」と確認。「約10万2千票」は「約10万2千2百票」が正確

記載内容：「2019年参院選に比例代表から再出馬。104,339票を得て、立憲民主党の比例候補8人中5番目で念願の初当選」

- 検証結果：✓正確（得票数）、△要確認（順位）
- 根拠・出典：Wikipedia記載「2019年7月21日に行われた第25回参議院議員通常選挙比例区において104,339票を得て初当選」と確認。ただし「8人中5番目」の詳細な順位は確認できず

記載内容：「1998年からバス労組の執行委員を務め」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト「1998年に西東京バス労働組合執行委員に就任」と確認

記載内容：「2015年に日本私鉄労働組合総連合会（私鉄総連）の交通対策局長」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び公式サイトで「2015年に日本私鉄労働組合総連合会（私鉄総連）交通対策局長に就任」と確認

3. 重要な事実関係

記載内容：「2025年4月には『カスタマーハラスメント対策法案』を立憲民主党・国民民主党の共同提案で参議院に提出」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党公式サイトで「立憲民主党は4月25日、国民民主党と共同で議員立法『カスタマーハラスメント対策法案』を参院に提出しました」と確認。森屋隆議員も賛成者として参加

記載内容：「2022年末の『交通政策基本法の一部改正』」

- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：交通政策基本法は2013年に制定されており、2022年に改正された記録は確認できない
- 根拠・出典：国土交通省サイトで「平成25(2013)年11月27日に『交通政策基本法』として成立」と確認。2022年の改正についての記録は見当たらない

記載内容：「民主党から要請を受けて2016年参院選に初挑戦」

- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：民進党から出馬
- 根拠・出典：Wikipedia記載「2016年7月の第24回参議院議員通常選挙に民進党比例区から出馬」と確認。2015年2月に民主党から公認内定を受けたが、実際の選挙時は民進党

記載内容：「東京都西多摩郡檜原村生まれ」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び参議院公式サイトで確認

記載内容：「東京都立多摩工業高等学校卒業」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び参議院公式サイトで「1986年3月、東京都立多摩工業高等学校卒業」と確認

記載内容：「私鉄総連の組織内候補が国会に議席を持つのは2010年に引退した淵上貞雄（社会民主党）以来9年ぶり」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia記載と一致

4. その他の要確認事項

記載内容：記事内で引用された具体的な国会発言や質疑内容

- 検証結果：△要確認
- 理由：記事内の多数の脚注による発言引用について、個別の検証が必要だが、時間的制約により全てを確認できない

改善提案

修正が必要な箇所：

1. **2016年選挙の得票数表記**: 「約10万2千票」 → 「約10万2千2百票」 または 「102,208票」
2. **2016年選挙の政党名**: 「民主党から要請を受けて」 → 「民進党から出馬」（2015年に民主党から公認内定、2016年選挙時は民進党）
3. **交通政策基本法改正**: 2022年の改正について記述の再確認が必要（該当する改正の存在が確認できない）

追加確認が推奨される情報：

1. **2019年選挙での立憲民主党比例候補8人**中の具体的順位
2. 記事内の多数の国会発言引用の詳細確認
3. **SNSフォロワー数等**の最新データ

総じて、記事の大部分は正確な情報に基づいていますが、上記の3つの数値・事実関係については修正が必要です。